

# VI 調査票及び届書

Part VI Survey forms and notification formats

(表面)

数字記入例		人口動態調査出生票 1		統計法に基づく 基幹統計調査 政府統計	
市区町村符号及び保健所符号		事件簿番号		照会	
市区町村符号及び保健所符号		市区町村受付		市区町村受付	
市区町村符号及び保健所符号		保健所受付		保健所受付	
(1) 子の氏名 父母との続き柄 男 女	氏名	1男 2女 1男 2女 生まれたとき	和暦 年 月 日 1午前 2午後 時		
(2) 出生したとき	出生したとき	1 出生地 1 日本 2 韓国 3 中国 4 台湾 5 タイ 6 米国 7 英国 8 75% 9 9% 10 5% の国 11 不明			
(3) 生まれたところ	出生地	1 市区町村 2 市区町村外 3 その他 市区町村符号 保健所符号		指定都市の町、字、丁目、番地、番号、アパート・マンション、様方	
(4) 子の住所	住所	市区町村符号 保健所符号			
(5) 父母の氏名 父母の生年月日	父母の氏名 父母の生年月日	(6) 父母の国籍	父 母 父 母	1 日本 2 韓国 3 中国 4 台湾 5 タイ 6 米国 7 英国 8 75% 9 9% 10 5% の国 11 不明	
(7) 同居を始めたとき	同居を始めたとき	(8) 子が生まれたときの世帯の主な仕事	(9) 子が生まれたときの父母の職業	1 自家営 2 自営 3 勤工 4 勤工 5 その他 6 無職 7 専業主婦 8 専業主夫 9 専業主婦 10 専業主夫 11 その他 12 不明	
(11) 体重及び身長	体重及び身長	(10) 子が生まれたときの施設の種類	施設の種類	1 病院 2 診療所 3 助産所 4 自宅 5 その他	
(13) 妊娠週数	妊娠週数	備考			
(14) この母の出産した子の数	この母の出産した子の数	欄			
(15) 出生に立ち会った者	出生に立ち会った者	確認			

(裏面)

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。  
この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

(表面)

数字記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		<b>人口動態調査死亡票 2</b>		(和暦) 年 月 日 市区町村受付		統計法に基づく 基幹統計調査	
市区町村符号及び保健所符号		支所 保健所		事件簿番号		(和暦) 年 月 日 保健所受付	
(1) 氏 名		(3) 生 年 月 日		(4) 死 亡 し た と き			
		和暦 年 月 日 1午前 2午後 時 分		和暦 年 月 日 1午前 2午後 時 分			
(2) 1男 2女 性別 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		(6) 死亡した人の住所					
		日本 外国 不詳 都道府県 市、郡、特別区 町、村、指定都市の区又は総合区					
(5) 死亡した人の国籍		1日本 2韓国 3中国 4タイ 5タイ 6米国 7英国 8フランス 9ドイツ 10その他 11不詳		(8)(9) 死亡した人の夫または妻 1いる 満 歳 いない(未婚 死別 離別) 5不詳			
(7) 死亡した人の国籍		1日本 2韓国 3中国 4タイ 5タイ 6米国 7英国 8フランス 9ドイツ 10その他 11不詳		(8)(9) 死亡した人の夫または妻 1いる 満 歳 いない(未婚 死別 離別) 5不詳			
(10) 死亡したときの世帯の主な仕事		1農業 2自営 3勤 4勤 5その他 6無業 (11) 死亡したときの職業・産業		(12)(13) 死亡したところの種別		施設の名	
		1病院 2診療所 3介護施設 4勤務所 5葬儀会館 6自宅 7その他					
原死因符号		外因の状況符号		発生したところ符号		母側符号	
(4) 死亡の原因		(ア) 直接死因		発病(発症)又は受傷から死亡までの期間			
		(イ) (ア)の原因					
		(ウ) (イ)の原因					
		(エ) (ウ)の原因					
II ぼろに影響を及ぼす							
手術		部位及び主要所見		手術年月日 (和暦) 年 月 日		解剖	
		1無 2有 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				1無 2有 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
(15) 死因の種類		1病死・自然死 2交通 3転倒 4溺水 5火災 6窒息 7中毒 8その他 9自殺 10他殺 11不詳の死		(17) 出生時体重		単胎・多胎の別	
		1病死・自然死 2交通 3転倒 4溺水 5火災 6窒息 7中毒 8その他 9自殺 10他殺 11不詳の死		1無 2有 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>		1単胎 2多胎 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
(16) 外因死の追加事項		(和暦) 年 月 日 1午前 2午後 時 分		母の生年月日		妊娠週数	
		1居住 2工場及び建築現場 3道路 4その他		和暦 年 月 日		1前回の妊娠の結果 2出生児 3不詳	
(19) 施設の所在地又は医師の住所及び氏名		住所 丁目 番地 番号		確認		備考	
		氏名		<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

(裏面)

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。  
この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

(表面)

数字記入例 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9		<b>人口動態調査死産票 3</b>		(和暦) 年 月 日 市区町村受付		統計法に基づく 基幹統計調査			
市区町村符号及び保健所符号 <input type="text"/>		支所 保健所 <input type="text"/>		事件簿番号 <input type="text"/>		(和暦) 年 月 日 保健所受付			
(1) 父母の国籍 父 <input type="checkbox"/> 1日本 <input type="checkbox"/> 2韓国 <input type="checkbox"/> 3中国 <input type="checkbox"/> 4カカ <input type="checkbox"/> 5タイ <input type="checkbox"/> 6米国 <input type="checkbox"/> 7英国 <input type="checkbox"/> 8万カ <input type="checkbox"/> 9他 <input type="checkbox"/> 10不詳 <input type="checkbox"/> 11不詳 <input type="checkbox"/>		(2) 父母の氏名及び年齢 父 満 <input type="text"/> 歳		母 満 <input type="text"/> 歳					
(3) 死産児の男女別及び嫡出子か否かの別 1男 <input type="checkbox"/> 2女 <input type="checkbox"/> 3不詳 <input type="checkbox"/> 1嫡出子 <input type="checkbox"/> 2嫡でない子 <input type="checkbox"/>		(4) 死産があったとき 和暦 年 月 日 1午前 <input type="checkbox"/> 2午後 <input type="checkbox"/> 時 <input type="checkbox"/>							
(5) 死産があったときの母の住所 日本 <input type="checkbox"/> 外国 <input type="checkbox"/> 不詳 <input type="checkbox"/>		都道府県 <input type="text"/>		市、郡、特別区 <input type="text"/>		町、村、指定都市の区又は総合区 <input type="text"/>			
1届市 2届市 出地区 と町 外の村		市区町村符号 <input type="text"/>		保健所符号 <input type="text"/>		指定都市の町、字、丁目、番地、番号、アパート・マンション、様方			
(6) 死産があったときの世帯の主な仕事 1農家 <input type="checkbox"/> 2自営 <input type="checkbox"/> 3勤I <input type="checkbox"/> 4勤II <input type="checkbox"/> 5その他 <input type="checkbox"/> 6無職 <input type="checkbox"/>		(7) 死産があったときの父母の職業 父 <input type="checkbox"/> 母 <input type="checkbox"/>		(8) この母の出産した子の数 出生子 <input type="text"/> 人 妊娠満22週以後の死産児 <input type="text"/> 胎 妊娠満21週以前の死産児 <input type="text"/> 胎					
(9) 妊娠週数 満 <input type="text"/> 週 <input type="text"/> 日		(10) 死産児の体重及び身長 kg <input type="text"/> 不詳 <input type="checkbox"/> cm <input type="text"/> 不詳 <input type="checkbox"/>		(11) 胎児死亡の時期 (妊娠満22週以後の自然死産) 1分娩前 <input type="checkbox"/> 2分娩中 <input type="checkbox"/> 3不詳 <input type="checkbox"/>					
(12) 死産があったところの種別 1病院 <input type="checkbox"/> 2診療所 <input type="checkbox"/> 3助産所 <input type="checkbox"/> 4自宅 <input type="checkbox"/> 5その他 <input type="checkbox"/>		(13) 単胎・多胎の別 1単胎 <input type="checkbox"/> 2多胎 <input type="checkbox"/> ( <input type="text"/> 子中第 <input type="text"/> 子 )		(14) 死産の自然人工別 1自然 <input type="checkbox"/> 2法による人工死産 <input type="checkbox"/> 3法によらない人工死産 <input type="checkbox"/> 4不明 <input type="checkbox"/>					
(15) 胎児の側 <input type="text"/>		母の側 <input type="text"/>							
自然死産の原因若しくは理由又は人工死産の理由	I (ア) 直又は接は原因理由								
	(イ) (ア)の原因								
	(ウ) (イ)の原因								
	(エ) (ウ)の原因								
II 1 ば 擲した影響病名を及等									
母体保護法による場合 1母体側の疾患 <input type="checkbox"/> 2その他 <input type="checkbox"/>		疾患名又は理由							
母体保護法によらない場合 1母体側の疾患 <input type="checkbox"/> 2その他 <input type="checkbox"/>		疾患名又は理由							
(16) 胎児手術の有無 1無 <input type="checkbox"/> 2有 <input type="checkbox"/>		部位及び主要所見 <input type="text"/>		(17) 死胎解剖の有無 1無 <input type="checkbox"/> 2有 <input type="checkbox"/>		主要所見 <input type="text"/>		(18) 死産に立ち会った者 1医師 <input type="checkbox"/> 2助産師 <input type="checkbox"/> 3その他 <input type="checkbox"/>	
双子以上の場合には他の子の事件簿番号 出生票第 <input type="text"/> 号 死産票第 <input type="text"/> 号		確認 <input type="text"/>		備考 <input type="checkbox"/>					

(裏面)

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。  
この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

(表面)

数字記入例	<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="1"/> <input type="text" value="2"/> <input type="text" value="3"/> <input type="text" value="4"/> <input type="text" value="5"/> <input type="text" value="6"/> <input type="text" value="7"/> <input type="text" value="8"/> <input type="text" value="9"/>	<h2 style="margin:0;">人口動態調査婚姻票</h2> <input style="width:20px; height:20px; border:1px solid black;" type="text" value="4"/>	統計法に基づく 基幹統計調査 
市区町村符号及び保健所符号	支所 保健所	市区町村 市区町村受付	照会
市区町村 受付月	(1) 氏名及び生年月	(和暦) 年 月 日	(和暦) 年 月 日
夫	妻	和暦 年 月 日	和暦 年 月 日
(2) 夫の住所	都道府県 <input style="width:50px;" type="text"/> 市、郡、特別区 <input style="width:50px;" type="text"/> 町、村、指定都市の区又は総合区(指定都市の町、字、丁目以下は記入しないでください) <input style="width:100px;" type="text"/>		
(3) 国籍	(4) 婚姻後の夫婦の氏名 夫 1 日本 2 朝鮮 3 中国 4 アフリカ 5 タイ 6 米 7 英 8 7カ国 9 その他 10 その他 11 不詳 妻 1 日本 2 朝鮮 3 中国 4 アフリカ 5 タイ 6 米 7 英 8 7カ国 9 その他 10 その他 11 不詳		
(6) 初婚・再婚の別	(5) 同居を始めたとき	(和暦) 年 月 日	(和暦) 年 月 日
(7) 同居を始める前の世帯の主な仕事	(8) 同居を始める前の夫の職業	(和暦) 年 月 日	(和暦) 年 月 日
確認欄	備考欄		

(裏面)

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。  
 この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づく報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

数字記入例 0123456789		人口動態調査離婚票 5		統計法に基づく 基幹統計調査	
市区町村符号及び保健所符号		事件簿番号		照会	
市区町村 月 年 日 受付		夫 氏名及び 月 年 日 出生		市区町村 月 年 日 保健所受付	
(2) 国籍 夫 妻		(3)(4) 離婚の種別 協議 調停・審判 和解 訴訟判決		(5) 未成年の子の数 夫が離婚を行う子 妻が離婚を行う子	
(8) 別居する前の住所 日本 外国		(6)(7) 同居の期間 同居を始めたとき 別居したとき		(9) 別居する前の世帯の主な仕事 1 農家 2 自営 3 勤I 4 勤II 5 その他 6 無職	
(9) 別居する前の世帯の主な仕事		(10) 別居する前の夫妻の職業 夫 妻		備考	
確認		欄			

この調査は、統計法に基づく基幹統計を作成するために行う調査です。  
 この調査の対象となっている市区町村長には統計法に基づき報告の義務があり、報告の拒否や虚偽報告については罰則があります。

# 出生届

受理第 号	令和 年 月 日	発送	令和 年 月 日	年 月 日	日 月 日	長 印
送付第 号	令和 年 月 日	調査票	調査票	附 票	住民票	通 知
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票	通 知
氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
子(よみかた)の氏名(外国人のときは(外国人名を括弧)としてください)	父の氏名	母の氏名	子の氏名(男) (女)	出生時刻	出生時刻	出生時刻
生まれたとき	生まれたとき	生まれたとき	生まれたとき	生まれたとき	生まれたとき	生まれたとき
住所(住民登録をする)の氏名	住所(住民登録をする)の氏名	住所(住民登録をする)の氏名	住所(住民登録をする)の氏名	住所(住民登録をする)の氏名	住所(住民登録をする)の氏名	住所(住民登録をする)の氏名
父の氏名(子の生まれたとき(子の年齢)の氏名)	母の氏名(子の生まれたとき(子の年齢)の氏名)	父の氏名(子の生まれたとき(子の年齢)の氏名)	母の氏名(子の生まれたとき(子の年齢)の氏名)	父の氏名(子の生まれたとき(子の年齢)の氏名)	母の氏名(子の生まれたとき(子の年齢)の氏名)	父の氏名(子の生まれたとき(子の年齢)の氏名)
本籍(外国人のときは(国籍だけを括弧)としてください)	本籍(外国人のときは(国籍だけを括弧)としてください)	本籍(外国人のときは(国籍だけを括弧)としてください)	本籍(外国人のときは(国籍だけを括弧)としてください)	本籍(外国人のときは(国籍だけを括弧)としてください)	本籍(外国人のときは(国籍だけを括弧)としてください)	本籍(外国人のときは(国籍だけを括弧)としてください)
同居を始めたとき	同居を始めたとき	同居を始めたとき	同居を始めたとき	同居を始めたとき	同居を始めたとき	同居を始めたとき
子が生まれたとき(お母もな仕事とおもな仕事)	子が生まれたとき(お母もな仕事とおもな仕事)	子が生まれたとき(お母もな仕事とおもな仕事)	子が生まれたとき(お母もな仕事とおもな仕事)	子が生まれたとき(お母もな仕事とおもな仕事)	子が生まれたとき(お母もな仕事とおもな仕事)	子が生まれたとき(お母もな仕事とおもな仕事)
父の職業	父の職業	父の職業	父の職業	父の職業	父の職業	父の職業
母の職業	母の職業	母の職業	母の職業	母の職業	母の職業	母の職業
父 1. 父 2. 法定代理人( ) 3. 同居者 4. 医師 5. 助産師 6. その他の立会者 7. 公認理の長	父 1. 父 2. 法定代理人( ) 3. 同居者 4. 医師 5. 助産師 6. その他の立会者 7. 公認理の長	父 1. 父 2. 法定代理人( ) 3. 同居者 4. 医師 5. 助産師 6. その他の立会者 7. 公認理の長	父 1. 父 2. 法定代理人( ) 3. 同居者 4. 医師 5. 助産師 6. その他の立会者 7. 公認理の長	父 1. 父 2. 法定代理人( ) 3. 同居者 4. 医師 5. 助産師 6. その他の立会者 7. 公認理の長	父 1. 父 2. 法定代理人( ) 3. 同居者 4. 医師 5. 助産師 6. その他の立会者 7. 公認理の長	父 1. 父 2. 法定代理人( ) 3. 同居者 4. 医師 5. 助産師 6. その他の立会者 7. 公認理の長
本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍	本籍
署名(※押印は任意)	署名(※押印は任意)	署名(※押印は任意)	署名(※押印は任意)	署名(※押印は任意)	署名(※押印は任意)	署名(※押印は任意)
事件簿番号	事件簿番号	事件簿番号	事件簿番号	事件簿番号	事件簿番号	事件簿番号

## 記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。

子が生まれた日からかぞえて14日以内に提出してください。

子の本籍地でない市区町村役場に提出するときは、2通提出してください(市区町村役場が相当と認めるときは、1通で足りることもあります。)。2通の場合でも、出生証明書は、原本1通と写し1通でさしつかえありません。

子の名は、常用漢字、人名用漢字、かたかな、ひらがなで書いてください。子が外国人のときは、原則かたかなで書くとともに、住民票の処理上必要ですから、ローマ字を付記してください。

よみかたは、戸籍には記載されません。住民票の処理上必要ですから書いてください。

□には、あてはまるものに☑のようにしるしをつけてください。

筆頭者の氏名には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

子の父または母が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合は、新しい戸籍がつくられますので、この欄に希望する本籍を書いてください。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基礎統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

※出生届の手続については、極みや困りごとがあれば、お近くの市区町村又は法務局にご相談ください。  
出生届を届け出なければ、その子の戸籍がつかず、不利益を被るおそれがあります。  
詳しくは法務省のホームページをご覧ください。 **Q無戸籍 法務省**

# 出生証明書

子の氏名	男女の別	1男 2女
生まれたとき	午前 午後	時 分
出生したところの種別	1病院 2診療所 3助産所 4自宅 5その他	
出生したところ	番地 番	号
出生したところ及びその種別	出生したところ(出生したところの種別1-3)	施設の名称
体重及び身長	グラム	センチメートル
単胎・多胎の別	1単胎 2多胎(子中第 子)	
母の氏名	妊娠週数	満 週 日
この母の出産した子の数	出生子(この出生子及び出生後に死した子を含む) 死産児(妊娠満22週以後)	人 胎
1医師 2助産師 3その他	上記のとおり証明する。	年 月 日
	(住所) (氏名)	番地 番 号

## 記入の注意

夜の12時(午前0時)から翌朝の12時(午後0時)と書いてください。

体重及び身長は、立会者が医師又は助産師以外の者で、わかかなければ書いても構いません。

この母の出産した子の数は、当該母又は本人などから聞いて書いてください。

この出生証明書の作成者の署名は、この出生の立会者が助産師又は助産師が書くように1、2、3の順に記してください。



# 死産証書 (死産検案書)

この死産証書 (死産検案書) は、我が国の死産統計作成の資料としても用いられます。かき書で、できるだけ詳しく書いてください。

**記入の注意**

令和 年 月 日 届出 長殿

受付 令和 年 月 日 令和 年 月 日 調査票作成 号

(1) 父母の婚姻直前の本籍 (外国人のときは国籍を記入してください) 父 母 都道府県名 都道府県名 都道府県名 都道府県名

(2) 氏生年月日 (死産があったときの年齢) 年 月 日 (満 歳) 年 月 日 (満 歳) 年 月 日 (満 歳) 年 月 日 (満 歳)

(3) 死産児の男女別及び嫡出子か否かの別 父 母 男 女 嫡出子 否

(4) 死産があったとき死産があったところ 令和 年 月 日 午 時 分 前 後 番 地 番 号

(5) 死産があったとき死産があったところ (住民登録をしていない場合は記入してください) 番 地 番 号

(6) 死産があったときの世帯の主な仕事と父母の職業 父の職業 母の職業 出生子 (出生後死亡した子を含む) 妊娠22週以後の死産児 (この死産児を含む) 妊娠22週以前に死亡した死産児又は流産死胎 (この死産児を含む)

(7) 胎児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(8) 死産児の体重及び身長 体重 センチメートル

(9) 死産があったとき死産があったところ (自然死産に限る) 1 分娩前 2 分娩中 3 不明

(10) 死産児の体重及び身長 体重 センチメートル

(11) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(12) 死産児の体重及び身長 体重 センチメートル

(13) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(14) 死産児の体重及び身長 体重 センチメートル

(15) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(16) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(17) 死産児の体重及び身長 体重 センチメートル

(18) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(19) 死産児の体重及び身長 体重 センチメートル

(20) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(21) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(22) 死産児の体重及び身長 体重 センチメートル

(23) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(24) 死産児の体重及び身長 体重 センチメートル

(25) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(26) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(27) 死産児の体重及び身長 体重 センチメートル

(28) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(29) 死産児の体重及び身長 体重 センチメートル

(30) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(31) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(32) 死産児の体重及び身長 体重 センチメートル

(33) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

(34) 死産児の体重及び身長 体重 センチメートル

(35) 死産児の性別 1 男 2 女 3 不詳

妊産婦数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により測定し、できるだけ正確に書いてください。

後の12時は、「午後0時」、後の12時は、「午後0時」と書いてください。

1欄及び11欄に記入した手術名と関連のある所見等を中心として、術式又はその診断に書いてください。



# 婚姻届

令和 年 月 日 届出

受理 令和 年 月 日 発送 令和 年 月 日		第 号		長 印	
送付 令和 年 月 日		第 号		第 号	
書類調査	戸籍記載	記載調査	調査票	附 票	住民票 通 知
長 殿					
(1) 氏名 (よみかた) 氏名	夫 にな る 人		妻 にな る 人		
	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名
(2) 生年月日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日	年 月 日
(3) 住所 (住民登録をしているところ)	住所		住所		
本籍	番地 番	番地 番	番地 番	番地 番	番地 番
(4) 婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	父 母		父 母		
父母及び養父母の氏名	父	母	父	母	続き柄 女
父母との続き柄	養父	養母	続き柄 養子	続き柄 養女	続き柄 養女
(5) 同居を始めたとき	新本籍 (左の□の氏の人かすでに戸籍の筆頭者となつているときは書かないでください)		年 月 (結婚をあげたときまたは、同居を始めるときのうち早いほうを記入してください)		
(6) 初婚・再婚の別	初婚	再婚	死別	再婚	死別
(7) 同居を始める前の夫妻のそれぞれのおもな仕事とおもな仕事と	夫 妻		夫 妻		
(8) 夫妻の職業	夫の職業		妻の職業		
その他					
届出人署名 (※押印は任意)	夫 印		妻 印		
事件番号					

## 記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。  
この届は、あらかじめ用意して、結婚式をあげる日または同居を始める日に出すようにしてください。その日が日曜日や祝日でも届けることができます。  
夫になる人または妻になる人の本籍地に出すときは、そのほかのところに出すときは3通出してください (役場が相当と認めたときは、1通で足りることもあります)。  
この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍簿本または戸籍全部事項証明書が必要ですから、あらかじめ用意してください。

証 人	
署名 (※押印は任意)	印
生年月日	年 月 日
住所	年 月 日
本籍	番地 番
	番地 番

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

□には、あてはまるものに□のようにしるしをつけてください。  
外国人と結婚する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくられますので、希望する本籍を書い

てください。

再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。  
内縁のものはふくまれません。

届け出られた事項は、人口動態調査 (統計法に基づき、基幹統計調査、厚生労働省所管) にも用いられます。

# 離婚届

令和 年 月 日 届出  
第 号  
送付 令和 年 月 日  
第 号  
書類記載 戸籍記載 記載調査 調査票 附 調査票 住民票 通知  
長 殿

(1) 氏名 (よみかた) 夫 氏名 妻 氏名 生年月日 住所 (住民登録をして いるところ) 本籍 (外国人のときは 国籍だけを書いて ください)	氏名 氏名 年 月 日 年 月 日 番地 番
(2) 父母及び養父母の氏名 父の氏名 母の氏名 続き柄 男 続き柄 女 養父 養母 続き柄 男 続き柄 女 養父 養母	妻の父 母 妻の父 母 養父 養母 養父 養母 続き柄 女 続き柄 女
(3) 離婚の種別 <input type="checkbox"/> 協議離婚 <input type="checkbox"/> 調停 <input type="checkbox"/> 審判 <input type="checkbox"/> 夫は <input type="checkbox"/> もとどの戸籍にもどる <input type="checkbox"/> 妻は <input type="checkbox"/> 新しい戸籍をつくる	年 月 日 成立 年 月 日 成立 年 月 日 成立 年 月 日 成立
(4) 婚姻前の氏に もどる者の本籍	協議離婚 調停 審判 夫は <input type="checkbox"/> もとどの戸籍にもどる 妻は <input type="checkbox"/> 新しい戸籍をつくる
(5) 未成年の氏名 氏名	夫が親権 を行う子 妻が親権 を行う子
(6) 同居の期間 年 月 から 年 月 まで (同居を始めたとき)	年 月 日 まで 年 月 日 まで 年 月 日 まで
(7) 同居する前の 住所	番地 番 番地 番
(8) 別居する前の 住所	番地 番 番地 番
(9) 別居する前の 世帯のおもな 仕事と	<input type="checkbox"/> 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯 <input type="checkbox"/> 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯 <input type="checkbox"/> 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用労働者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 4. 3.にあてはまらない常用労働者世帯及び会社団体の役員(日々または1年未満の契約の雇用者は5) <input type="checkbox"/> 5. 1から4にあてはまらないその他の仕事をしている者のいる世帯 <input type="checkbox"/> 6. 仕事をしている者のいない世帯 (国勢調査の年... 年...の4月1日から翌年3月31日までに届出するときだけ書いてください)
(10) 夫妻の職業 夫の職業 妻の職業	夫の職業 妻の職業
その他	
届出人署名 (※押印は任意)	夫 印 妻 印
事件簿番号	

## 記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。  
筆頭者の氏名欄には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。  
本籍地でない市区町村役場に提出するときは、2通または3通提出してください。(市区町村役場が相当と認めたとときは、1通で足りることもあります。)。また、そのさい戸籍簿本1通もあわせて提出してください。  
そのほかに必要なもの

- 調停離婚のとき → 調停調査書の原本
- 審判離婚のとき → 審判書の原本と確定証明書
- 協議離婚のとき → 協議調査書の原本
- 協議離婚のとき → 協議調査書の原本
- 協議離婚のとき → 協議調査書の原本
- 協議離婚のとき → 協議調査書の原本

証人 (協議離婚のときだけ必要です)	
署名 (※押印は任意)	印
生年月日 年 月 日	年 月 日
住所	
本籍	番地 番
	番地 番

□には、あてはまるものに○のようしるしをつけてください。  
□には、あてはまるものに○のようしるしをつけてください。  
今後も離婚の際に称していた氏を称する場合には、左の欄には何も記載しないでください(この場合にはこの離婚届と同時に別の届書を提出する必要があります。)  
同居を始めたときの年月は、結婚式をあげた年月または同居を始めた年月のうち早いほうを書いてください。  
届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づき基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。

父母が離婚するときは、面会交流や養育費の分担など子の監護に必要な事項についても父母の協議で定めることとされています。この場合には、子の利益を最も優先して考えなければならぬこととされています。

- 未成年の子がいる場合は、次の□のあてはまるものしるしをつけてください。  
面会交流：未成年の子と離れて暮らしている親が子と定期的に連絡的に、会って話をしたり、一緒に遊んだり、電話や手紙などで交流すること。

- 経済的に自立していない子(未成年の子に限られません)がいる場合は、次の□のあてはまるものしるしをつけてください。  
養育費：経済的に自立していない子(例えば、アルバイト等)による収入があっても相当する場合があります)の衣食住に必要な経費、教育費、医療費など。

取決め方法：公正証書 それ以外  
このチェック欄についての法務省の解説動画

詳しくは、各市区町村の窓口において配布している「子どもの養育に関する同意書作成の手引きとQ&A」をご覧ください。  
面会交流や養育費のほか、財産分与、年金分割等、離婚をするときに考えおくべきことをまとめた情報を法務省ホームページ内にも掲載しています。



日本司法支援センター(法テラス)では、面会交流の取決めや養育費の分担など離婚をめぐる問題について、相談窓口等の情報を無料で提供しています。無料法律相談や弁護士費用等の立替えをご利用いただける場合もありますので、お問い合わせください。  
【法テラス・サポートダイヤル】0570-078374 【公式ホームページ】https://www.houterasu.or.jp